

由布市立挾間中学校だより「ひむかい」 令和6年度 No.2

令和6年5月29日発行 文責 須藤礼子

班
回
覧

「体育大会で育てる力」

2024年度の体育大会が、5月24日に開催されました。素晴らしい天候の中、子どもたちは一生懸命に競技や係の仕事に取り組み、声の限りに仲間を応援しました。3年生を中心としたとても感動的な会になりました。子どもたちにとって、一生の思い出となったことと思います。

こうした行事は単純に競技の練習をしたからといって成功するものではありません。学校では、行事の前に実行委員会を立ち上げ、組織をつくります。その実行委員会が中心となって、スローガン（目標）を決めます。大きなスローガンを受けて、各学年、学級、各係はそれぞれの目標を決め、具体的な動きを考えます。更には、与えられた役割の中で、自分は何をすべきか、一人ひとりが自分の目標を決めていきます。

目標は決まっても、実際の動きの中では、なかなか思うような行動ができない場合や、上手いこないこともたくさんあります。これを調整するのが、練習期間です。時には思いが伝わらなかったり、言い争いになったりすることもあります。話し合うことで、この食い違いを乗り越えて本物の仲間となっていくのです。このようなことを経た結果が、当日の子どもたちの姿です。

「企画力」「判断力」「実践力」「対話力」「課題解決力」等・・・様々な力を付けるために、行事を行っています。もちろん、楽しい思い出となることも願っていますが、大人になっていくために身につけるべき力を、一人ひとりの子どもが獲得していくことが最大の願いです。

地域の皆様、保護者の皆様、ぜひこんな視点で子どもたちに感想を聞いてみてください。そしてこの付けた力を、次はどんな場面で、どんなかたちで発揮したいかを聞いてみてください。学校では、早速対話による振り返りを行い、次の目標に向かってスタートをしています。



「防災について」「平和について」

いざという時どう考え、どう行動するのか。

4月22日に「第1回避難訓練」を実施しました。今回は火災が発生したという想定で、グラウンドへ避難しました。5月2日には「平和授業」を行いました。日本国憲法が制定された経緯を知り、それに込められた思いを考える授業でした。どちらの授業にも一生懸命に参加する子どもたちの姿がありました。

「万が一を起こさせないために、自分は何ができるのか。」
「万が一の場面で、どう行動するか。」常に考えておかないと、自分や周囲の命は守れないのだと思います。



「学校運営協議会始動します！」

令和6年度の挾間中学校学校運営協議会の皆さんの活動がスタートしています。挾間中学校には、10人の学校運営協議会委員の方がいます。今年は、「一人ひとりの子どもたちの居場所づくりのために何ができるか」のテーマのもと、活動を始めて下さっています。サポート教室の支援、学校外の活動へのつなぎ、保護者の方への支援等々、早速自分たちができることから始めようとして下さっています。体育大会の日も、子どもたちの見守りをして下さいました。



シリーズ「つながる」！親子で語り合いませんか！」「勉強するということの意味」

6月26日、27日には、1学期末テストがあります。1週間前から部活動も停止になります。1年生にとっては、中学校初のテストで緊張することでしょう。しかし、本当に大切なのは、点数や順位等の数値的な結果ではありません。「定着する（記憶に残る）学習をするために、毎日どんな勉強の仕方をすればいいのか考える」→「実行する」→「テストで定着状況を確認する」→「学習方法を改善する」こんな風に、自分のベストのやり方を探し続けていくことは、人生の「勉強」にも通じるのではないのでしょうか。ぜひ、ご家庭でも話してみてください！！